

令和 6 年度  
横浜市立高等学校  
及び  
併設型中学校  
学校関係者評価書

対象校：横浜市立戸塚高等学校

## 調査全体の日程

調査日： 令和6年11月25日 ～ 12月25日

調査対象校： 横浜市立戸塚高等学校

調査チーム： 学校運営協議会

記録等担当者： 高岡誠司

### 1 第4期横浜市教育振興基本計画の推進状況

#### □総合的な探究の時間の取組

○生徒による学校評価10「『総合的な探究の時間』では、主体的に考え、行動し、問題解決ができる」において86.1%から、目標を実現できているという評価を得た。令和7年度は教材や全体計画の変更も検討しており、教職員全体で総合的な探究の時間の取組のさらなる改善に取り組む。

○教職員による学校評価7「趣旨やねらいを踏まえ、学校の基本的な考えを明確にした構想や計画を立てている」において73.1%、教職員による学校評価8「主体的に問題を解決する資質や能力が身につくように、学習活動を展開している」において71.7%と、70%は超えているものの、さらに改善が必要である。生徒のカリキュラムを充実していくとともに、職員研修等を通じて教職員全体で取り組むことができる組織づくりが必要である。

#### □魅力ある学びの創出に向けた取組

○生徒の授業に対する評価は令和6年度も良好である。令和6年度は、1年次の全教室にプロジェクターを設置するなど校内のICT化を進めることができた。それを利用するそれぞれの教員が努力を重ねることで、授業の充実を図ることができていると考えられる。

○特別活動、部活動等、生徒の主体的な活動に対する評価が上がっている。担当を中心に努力した結果であると考えられる。令和7年度も推進していきたい。

#### □多様化する生徒への支援

○授業見学週間を設置したり、研究授業を実施したりすることで、日々授業改善を推進している。

○キャリアガイダンスにおいては、面談期間で担任と話す機会を多くもち、それぞれの担任が生徒、保護者に丁寧に対応することや、高大連携のさまざまな取り組み等が充実してきている。さらに推進していきたい。

## 2 教育活動の状況

### □教科指導の状況について

- 各教科が生徒の実態に応じて適切な指導計画を立て、生徒の資質・能力向上に向けて、主体的に学習に取り組む「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた授業の充実を目指して取り組んでいる。年2回の授業見学週間を実施し、互いに学び合いながら授業改善に取り組んでいる。
- 1年次の全教室にプロジェクターが整備され、効率化と教育効果が高まった。

### □生徒指導・教育相談等の状況について

- 基本的な生活習慣の確立においては各ホームルーム、年次で遅刻指導を強化して行い、成果が出ている。ただし地域の方による学校評価4「生徒は登下校の際のマナーが身につけている」においては87.5%(-2.5ポイント)、地域の方による学校評価5「生徒は近隣に迷惑がかからないような行動をこころがけている」においては88.9%(-11.1ポイント)と令和5年度より下がっていることを踏まえ、今後の指導に活かしていきたい。
- 生徒による学校評価2「あなたはホームルーム(学級)で良好な人間関係を築くことができている」においては96.1%の生徒が肯定的な回答であった。、学習環境としても満足のいく環境が保たれていると感じる。
- 規範意識等の適切な指導については、保護者による学校評価5「生活習慣や規範意識を身に付けるための適切な指導が行われている」において81.8%(+5.9ポイント)、教職員による学校評価12「生徒の生活習慣の確立や規範意識の形成に向けて、適切な指導を行うことができている」において79.8%(+4.0ポイント)と、ともに令和5年度を上回っており、一定の成果は出ていると思われる。
- 心の悩みを抱える生徒が急増しており、スクールカウンセラーの利用も増えている。また外部機関とも連携する案件も増加傾向にある。

### □進路指導の状況について

- 教職員による学校評価13「生徒の希望する進路の実現に向けて、学校全体として適切に取り組んでいる」において、85.1%が肯定的に回答した。3年間のガイダンス計画や生徒の学習状況などが、各年次の指導や研修会を通して、教職員間でほぼ共有されていると考えられる。
- 生徒による学校評価6「進路に向けての明確な目標を持っている」において、79.5%が明確な目標を持っていると回答している。さらに生徒による学校評価7「進路説明会等で進路に関する情報を理解することができた」において87.7%が情報を理解していると回答していることから、各年次に応じた指導を継続的に行っている効果が出ている。大学進学のための情報提供だけでなく、職業別や分野別のガイダンスを定期的に行っている効果もある。
- 保護者による学校評価7「進路希望に応じた適切な指導が行われている」において83.6%が肯定的な回答をしている。保護者会や面談等を通じて定期的に情報を公開している効果が出ている。今後も、スタディサポートや模擬試験のデータをもとに現状に即した情報の公開をしていきたい。

#### 特別活動・部活動の状況について

○生徒主体で運営できる生徒会、委員会、行事になるよう各担当者が意識して支援し、生徒との対話を大切にしてきたので、概ねどの結果も達成できた。今後も生徒主体で運営できるよう支援しながら、社会性豊かな人間性を育成したい。

### 3 学校経営の状況

#### 学校経理・施設・設備・情報管理の状況について

○公金・準公金において、令和6年度も本校PTAによる会計監査が実施されたが問題となるような指摘はなかった。

○令和6年度の校内施設に関しては大規模修繕として受水槽、変電室の更新及び男子用トイレが改修された。令和7年度は女子用トイレが全面改修の予定。また、消防点検で指摘のあった避難袋の更新工事を実施した。

○個人情報については、定期的に研修を実施し、意識の保持に努めた。

#### 学校組織の運営、職員研修の状況について

○教職員による学校評価 17「学校経営方針に基づき、教職員が協力して円滑な学校経営がなされている」において、肯定的な回答をした教職員が令和5年度より 21.3 ポイント増加し、86.5%であった。教職員組織の主任を中心にチーム力が高まっている。教職員による学校評価に関しては、他の項目でも肯定的な回答の割合が高まっている。さらに連携を強化し、日々の教育活動に還元できる組織運営を目指す。

#### 保護者・地域との連携の状況について

○保護者による学校評価 11「学校の様子は家庭への配布資料や学校ホームページなどを通じて十分かつ適切に伝えられている」において、肯定的な回答が令和5年度より高い。ホームページや三者面談、また「すぐーる」（学校と家庭の連絡ツール）の利用などを通して、効果的な情報共有を行えることができた。

○地域の方による学校評価 1「学校は地域の人材や施設を教育活動に生かしている」、地域の方による学校評価 8「生徒は社会貢献（地域清掃や地域ボランティア等の取組）の活動や部活動により地域貢献ができています」の評価が令和5年度よりも高い。「総合的な探究の時間」や防災活動・ボランティア活動等を通じて、引き続き地域との関係を大切にしたい。

### 4 いじめへの対応に関する項目

#### いじめへの対応について

○概ね達成できていると考える。年3回アンケートを実施し、気になる記載があった生徒は教育相談に繋げ迅速に対応した。また、保護者への情報共有にも努めた。

○支援体制については、組織的な対応ができるように研修を充実させ、共通理解を図った。

## 5 学校関係者評価 提言（380字以内）

- （教職員アンケート 27 関連）教職員が今以上に地域の活動を理解して頂きたい。評価というより内容を知って頂くことで、学校と地域の相互評価になることに期待したい。
- （教職員アンケート 26・27 関連）Eの「判断できない」という回答の教職員が多い。A+Bの値の推移に限らず、Eにも注目して頂きたい。保護者アンケート 10 も「わからない」が増えており、これらの状況分析が必要である。
- （地域アンケート 7・10 関連）学校が現在取り組んでいることを上手にPRすることで、A+Bの値も増加すると思われる。
- 地域の中学校へは自治体の年間計画を持参している。今後、戸塚高校にも持参することで教職員の地域イベントへの参加が増えることが望ましい。生徒と共に参加することも十分に考えられる。また、地域アンケートの依頼対象が 13 団体では少ないので、令和 7 年度以降は 18 団体にして頂きたい。